



地域環境活動の協働における連携強化のためのフォーラムin飯山

信州の地域循環共生圏づくりと協働取組

主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部) 後援：飯山市

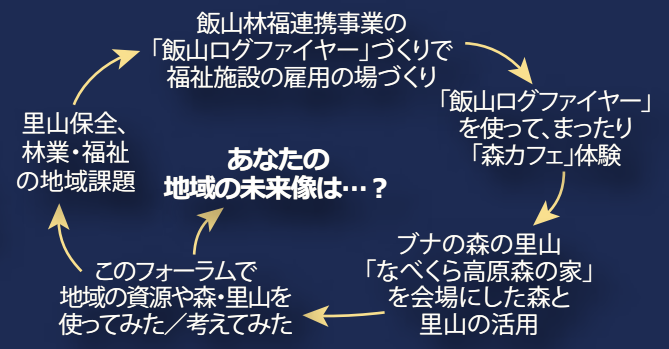
日時：2019年11月23日(土・祝)12:00～15:00(受付開始11:30)

場所：なべくら高原森の家(長野県飯山市照岡1571-15)

※JR「飯山駅」から送迎あり(送迎は希望者のみで先着18名まで/申込方法は裏面参照)

EPO中部、飯山市と次の3組のコラボで開催

- SDGsを活用した**飯山林福連携事業**(環境省同時解決事業)
- NPOわおん(EPO中部・協働コーディネーター)による**森カフェ**
- ブナの森の里山が会場 **なべくら高原森の家**(長野県飯山市)



～プログラム～

■講演「多様な協働による事業創造に向けて」

講師：島岡未来子氏(早稲田大学政治経済学術院教授)

■地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業に選定された長野県内団体

- 1) 長野県根羽村：流域は一つ「運命共同体」(矢作川流域)
- 2) 一般社団法人スマート・テロワール協会：
北信スマートテロワール～美しく・个性的で・豊穡な地域自給圏を目指して(北信地域)

■協働事例の紹介

- 1) 飯山林福連携事業と「飯山ログファイヤー」の紹介 …里山ウェルネス研究会
- 2) 協働による里山活用プロジェクト「森カフェ」の紹介 …山田勇氏(NPOわおん/EPO中部・協働コーディネーター)

■「森カフェ」で交流会 & なべくら高原森の家による「木のクラフト」ワークショップ

- ・「森カフェ」は、森の中で焚火を囲んで語らうイベントです。動きやすい服装でご参加ください。
- ・講演等は屋内施設で実施しますが、「森カフェ」は屋外での実施となります。
- ・「森カフェ」は少雨・積雪でも決行いたしますので、雨具等は各自の判断でご準備ください。
- ・天候によっては「森カフェ」を屋内での別のプログラムに変更する場合がございます。



2019年11月23日開催・協働フォーラムin飯山 参加申込方法

- 下記のEPO中部ウェブサイトから(申込フォームあり)、①お名前、②ご連絡先(メールアドレス、電話番号/ご所属先となる場合は組織名・部署名も記載)、③飯山駅と会場の送迎について希望する・希望しないを入力して送信してください。
- 定員を超過した場合は、先着順とさせていただきます。その場合は落選者へのみ連絡いたします。

■申込先■ 環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

【EPO中部ウェブサイト】 <http://www.epo-chubu.jp>
(参加申込フォームへのリンクあり)

お問い合わせ…TEL: 052-218-8605 または Email: office@epo-chubu.jp

※但し、電話・メールはお問い合わせのみとさせていただきます。参加申込は上記ウェブサイト(申込フォーム)からお願いいたします。

ご注意(飯山駅からの送迎希望者の方はご一読ください)

- ・飯山駅と会場「なべくら高原森の家」間の送迎(原則往復で申込)は、先着18名(ワゴン車2台に分乗)となっています。
 - ・送迎申込が満席になった場合には、上記ウェブサイトの申込フォームで送迎の申込ができなくなります。(フォーラムへの参加申込自体は可能です。)
 - ・申込フォームで送迎を「希望する」と選択する際には、ご自身の飯山駅への到着時刻を調べた上で、集合時刻(下記)をあらかじめ確認願います。申込後、送迎希望者には、事務局からメールで集合場所の詳細を案内いたします。
- 要確認■ 送迎(往路)の集合時間…飯山駅に10:45までに集合⇒会場11:15頃到着予定
- ・フォーラム終了後は送迎申込者が車に分乗できしだい、飯山駅に向けて出発します。司会やスタッフによる案内アナウンスを行います。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「SDGs」は、2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。環境省も達成を目指して様々な取組を展開しています。

飯山林福連携事業(環境省の「同時解決事業」)について

環境省では、地域における環境課題への取組を、SDGsを活用することにより他の社会課題の取組と統合的に進めることで、それぞれの課題との関係の深化、ステークホルダーの拡大、課題解決の加速化等を促進することを目的に、2018年度から「同時解決事業」；SDGsを活用した地域の環境課題と社会課題を同時解決するための民間活動支援事業」を実施しています。全国で計8つの地域・事業が採択されており、中部エリアでは「飯山林福連携事業」が採択されました。

「飯山林福連携事業」は、間伐材を活用したログファイヤー(丸太ロウソク)の製造・販売により、間伐材の活用と里山の維持管理の促進、ログファイヤーの加工における障がい者の働く場の確保を目指す、林業・福祉分野の地域課題の同時解決を目指している事業です。この事業のキー・アイテムとなるログファイヤーは特殊な加工が施されており、着火がしやすいこと、福祉施設の皆さんによる丁寧な加工が特徴となっています。本フォーラムではこの「飯山ログファイヤー」を用い、EPO中部・協働コーディネーターが展開している里山活用プロジェクト「森カフェ」の体験イベントを実施いたします。

(※森カフェは少雨決行ですが、当日の天候によっては屋内プログラムに変更させていただく場合がございます。)

環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業について

第五次環境基本計画で提唱された「地域循環共生圏」は、各々の地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限に活用しながら、自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指すという考え方です。

環境省は、その先駆けとなる事業として、「環境で地方を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」を展開しています。これは、地域循環共生圏の創造を強力に推進する「地域循環共生圏づくりプラットフォーム」の構築に取り組む団体の支援策を展開する事業で、2019年5月に全国で35団体が選定されました。長野県内では本フォーラムに登壇する「根羽村」と「一般社団法人スマート・テロワール協会」が選定されています。

はじまったばかりの事業ですが、本フォーラムでは、根羽村とスマート・テロワール協会がどのような地域像を目指し、どのような地域づくりを展開しようとしているかについてご紹介させていただきます。

フォーラム会場「なべくら高原 森の家」への交通アクセス

住所：
〒389-2601 長野県飯山市照岡1571-15

JRの場合

- 名古屋駅(中央線特急約3時間)⇒長野駅(JR飯山線約1時間)⇒飯山駅⇒タクシーまたは長電バス(バス50分)⇒森の家
- 東京駅⇒(北陸新幹線約1時間30分)⇒飯山駅⇒タクシーまたは長電バス(バス約50分)⇒森の家

車の場合

- 名古屋・小牧JCT⇒(中央道)⇒岡谷JCT⇒(長野道)⇒更埴JCT(上信越道)⇒豊田飯田IC⇒R117経由(ICより40分)⇒森の家
- 東京⇒(関越道)⇒藤岡JCT(上信越道)⇒豊田飯田IC⇒R117経由(ICより40分)⇒森の家

会場ウェブサイト(交通アクセスの詳細ページあり)… <http://www.nabekura.net>